

CONTENTS

- 会長就任挨拶
「摂南大学土木会の発展に向けて」
会長 青木葉 隆典(昭和62年卒)
- 学科長挨拶
「コロナ禍の経験を糧に」
都市環境工学科 学科長 熊野 知司
- 「都市環境システム工学科 建築士プログラム」
(一級建築士受験資格)認定条件
- 総会案内
- 令和3年度通常総会開催
- 準会員(学生)向けの特別講演会を開催しました
- 役員・評議員名簿
- [摂南大学土木会] 令和3年度決算書・令和4年度予算書(案)
- 研究室だより
- 教室だより
- 令和4年度就職状況
- 私の近況報告
- 卒業生特集
貢献する土木技術
- 私の近況報告
- 会員の声
- 技術士会だより
- 準備室スタッフ紹介
- 寄付いただいた方
- 訃報
- 在学生特集
テーマ「コロナ禍が収まりつつあるなか、
今後頑張りたいこと・やりたいこと」

枚方キャンパス農学部棟 近景



枚方キャンパス農学部棟 遠景



摂南大学土木会の発展に向けて

会長 青木葉 隆典（昭和62年卒）大鉄工業株式会社



摂南大学（以下摂大）土木会会員の皆様におかれましては、各方面で益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。この度の役員改選において、新田耕司会長の後任として摂大土木会の第十代目会長を務めることになりました昭和62年卒の青木葉隆典です。どうぞよろしくお願いいたします。半世紀以上にわたり、諸先輩方が築いてこられた歴史ある当土木会の会長に、若輩な私が就任することになり、身の引き締まる思いです。諸先輩方をはじめ会員各位のご指導とご鞭撻をいただきまして摂大土木会発展のために微力ではありますが尽力する所存であります。

私は、平成21年度に故平城先生の勧めで摂南大学技術士会に入会し、その後評議員となり、平成29年度に摂大土木会副会長に就任しました。副会長として摂大土木会の活動を行っていた間には新型コロナウイルス感染が拡大し、これまでの生活、社会経済状況は一変しましたが、摂大土木会の役員会・評議員会も大きく活動が制限され、令和2年度からはすべてオンライン開催となり、令和3年度は総会もオンライン

開催となっていました。これにより、本来実施する予定であった特別講演会や懇親会も実施することができず、会員同士の親睦も図りにくくなりました。新型コロナウイルス感染の早期終息を望むところではありますが、今期はこの感染状況を見ながら役員会・評議員会を2ヶ月に一度の頻度で寝屋川キャンパスでの対面とオンライン参加によるハイブリッド開催を致します。また、役員会・評議員会の際には、可能な限り懇親会を開催し会員同士の親睦を図っていきます。この取組みや連絡網の再整備等により、多くの役員・評議員のご出席に頂き、土木会の活動を活気づけていきたいと考えております。また、これまでどおり年に一度の会報発行を行い、土木会ホームページも随時情報を発信していきます。

常翔学園創立100周年となる今年度は、11月19日に大阪工業大学梅田キャンパスで総会を開催する予定です。多くの同窓生の皆さまに総会にご出席いただくことをこの場をお借りしてお願いいたします。

最後になりましたが、摂大土木会発展のため会員の皆様のご支援を深くお願いいたします。就任のご挨拶とさせていただきます。

コロナ禍の経験を糧に

都市環境工学科 学科長 熊野 知司



摂南大学土木会会員の皆様には、平素より都市環境工学科の教育ならびに運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

2020年に始まった新型コロナウイルス感染症の拡大の中、大学も大きな影響を受けました。その詳細は、福島前学科長が、摂土会会報第41号・42号で報告されていますので、ここでは、割愛させていただきますが、日本社会が感染防止対策をとりながらも徐々に日常を取り戻しつつある中、大学も2021年11月から原則として対面授業に移行しました。しかし単にコロナ禍前の授業方法に戻るのではなく、進化した対面授業への模索が始まっています。2022年度の学長方針の中で、「コロナ禍による経験を踏まえた教育改革の推進」が示されました。コロナ禍により、オンラインによる遠隔授業や動画教材を活用したオンデマンド方式の授業が余儀なくされましたが、大学の情報インフラが強化されるとともに教員の情報スキルのアップにもつながるという正の効果もありました。オンライン会議システムを授業のグルー

プワークのツールに利用したり、コロナ禍で作製した動画教材を事前学習や事後学習の教材として学生に提供し、教室で行う授業を演習やグループワーク等の主体的に学ぶことができる場に変革したりと、教育効果が上がる方法を目指して、各教員が模索を続けています。コロナ禍が大学教育にとって負の記憶ではなく、情報通信技術を活用した教育手法の進化につながる機会になるものと期待しています。

本学科は、2007年度にJABEEの初回認定を受け、2024年度に次の継続審査を受審する予定です。継続審査を前に、学科の教育に対する意見や要望をいただくことを目的に、8月末に外部評価会を計画しました。外部評価委員として産官学の有識者をお願いしていただき、摂土会会員の方にも委員をお願いすることになっております。評価結果の概要は来年度の会報で報告したいと思っております。

最後になりましたが、摂土会会員の皆様方の益々のご活躍を祈念しますとともに今後とも都市環境工学科への変わらぬご支援をいただけますようお願い申し上げます。

「都市環境システム工学科 建築士プログラム」(一級建築士受験資格)認定条件^{*1}

入学年(西暦)	入学年(平成)	学科	「建築士プログラム」認定の条件
2002	14	都市環境システム工学科	平成20年度開講の「建築製図」又は平成21年度から開講の「建築設計製図」を科目履修生として単位取得する ^{*2} 。又は同等の科目を他大学で履修して単位取得する ^{*3} 。
2003	15		
2004	16		平成20年度開講の「建築製図」を単位取得して卒業する。又は卒業後に「建築設計製図」(平成21年度から開講)を科目履修生として単位取得する ^{*2} 。もしくは同等の科目を他大学で科目履修して単位取得する ^{*3} 。
2005	17		
2006	18		平成21年度から開講の「建築設計製図」を単位取得して卒業する。又は卒業後に「建築設計製図」を科目履修生として単位取得する ^{*2} 。もしくは同等の科目を他大学で科目履修して単位取得する ^{*3} 。
2007	19		
2008	20		認定されない。 ^{*4}
2009以降	21以降		

※1:一級建築士受験を目指す「建築士プログラム」認定の条件です。卒業後に、建築に関して2年以上の実務経験を経て一級建築士試験の受験資格が得られます。二級建築士は、卒業後に1年以上の実務経験を経て受験できます。この場合、「建築士プログラム」認定の必要はありません。また、二級建築士合格後、4年以上の実務経験を経て一級建築士が受験できます。

※2:卒業後に対象科目の単位修得を行った場合も実務経験の起算日は卒業時となりました。なお科目履修の手続きについては教務課に問い合わせください。

※3:卒業後に対象科目の単位を他大学で取得した場合でも一級建築士の受験資格が得られるようになりました。ただし、他大学で科目を修得するにあたって、受講予定の授業内容と本学の「建築設計製図Ⅰ」の内容が一致しているかどうかについては、主管庁の国土交通省、建築技術教育普及センター、本学においても事前には一切回答いたしません。申請者が一級建築士の受験申請をする際に初めて国土交通省で審査されます。

※4:2009年度入学生(2010年度以降は都市環境工学科)からは新建築士法が適用されます。「建築士プログラム」は認定されませんが、新建築士法の規定により、指定科目の履修と所定の実務経験から二級建築士の受験資格が得られます。

令和3年度通常総会開催される

役員 小川 芳也

(摂大平成14年卒業、摂大修士平成16年修了、摂大博士平成24年修了)

令和3年度通常総会が令和3年11月27日(土)10:00～11:00、オンライン方式にて開催されました。

総会は、過年度の事業報告・決算報告および令和3年度事業計画・予算計画について審議され、それぞれ原案どおり承認されました。

令和2年度に続いてのオンライン開催となりましたが、卒業生・教員共に懇親を深めることができました。

準会員(学生)向けの特別講演会を開催しました

これから就職活動を開始する学生へ向けて、10月1日(土)に摂南大学寝屋川キャンパスにおいて建設業界の紹介を行いました。

行政機関・コンサル・施工・メーカー関係に従事している学科卒業生の先輩方に、業界の紹介、求めている人材像、仕事のやりがい、仕事に取り組んでいく中で大切なこと、学生時代の過ごし方、資格等について分かりやすく説明していただきました。

学生から質問が出るなどこれから始まる就職活動を意識して集中して聞き入っていました。

総会案内

令和4年度 摂南大学土木会総会

令和4年度総会を下記日程で開催いたします。ぜひ旧友とご連絡をお取りいただき、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

【と き】

令和4年11月19日(土)

〇15:00～16:00 特別講演

特別講演:『2025年日本国際博覧会

(大阪・関西万博)について(仮題)』

講演者:近畿地方整備局 西村 嘉浩 様

〇16:15～17:00 令和4年度総会

〇17:45～19:45 懇親パーティー

【ところ】

(特別講演、総会)

大阪工業大学梅田キャンパス

OIT梅田タワー2階セミナー室201・202

(懇親パーティー)

大阪工業大学梅田キャンパス

OIT梅田タワー21階ロランテ翔

【会 費】3,000円

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、内容を変更・中止させていただく場合がございます。最新の情報は摂南大学土木会のHPに掲載いたしますので、ご確認のうえご参加ください。

HP: <https://www.setsudokai.jp/>

株式会社 新井組

2030
ARAGUMI

未来を築く使命を担う。

明日のソリューションプロバイダーへ

AIMING FOR THE NEXT LEVEL OF CONSTRUCTION



創立78年、建設事業を通じて社会に貢献することを誇りとしています。

〒662-8502 兵庫県西宮市池田町12番20号 TEL: 0798-26-3111 FAX: 0798-26-8281 URL: <http://www.aragumi.co.jp/>

inai conex
アイナイ コネックス

鋼道路橋の補修・補強設計業務はお任せください。

正社員募集中!

インフラの再整備が進み、受注件数も増加しています。設計者としての第一歩を踏み出してみませんか?

inai conex 株式会社

代表取締役 弓倉 啓右

長谷川 望 (平成14年3月卒業)

橋川 雅斗 (平成23年3月卒業)

〒530-0042 大阪府大阪市北区天満橋1-3-10

TEL: 06-4309-6656 FAX: 06-4309-6686

<http://www.inai-conex.co.jp/>

令和4年度 摂南大学土木会役員・評議員名簿【案】

*学内連絡係／**代表幹事／***副代表幹事／※代表代議員

相談役	森 俊介(S55)	同上	延永 稔仁(S50)	江原 光治(S47)	寺岡 國仁(S57)	水野 貴史(H08)	小笠原裕介(H23)
同上	藤田 孝志(S55)	同上	中土井敬史(H7)	大島 和夫(S47)	道山 長八(S57)	吉山 昌志(H09)	赤星 健太(H24)
同上	新井 栄作(S60)	** 同上	手嶋 正和(H10)	※ 城 幸一郎(S47)	松下 正寿(S58)	手嶋 正和(H10)	植田 友徳(H25)
同上	新田 耕司(H2)	同上	中村 貴則(H10)	平峯 武志(S47)	木村 寿夫(S59)	山元 一平(H11)	川島 慶一(H25)
役員		同上	坂本 圭(H10)	塩沢 隆(S48)	宮川 尚三(S60)	亀井 義明(H12)	川口 雄大(H26)
会長	青木葉隆典(S62)	会計	石田 裕子	万字 敦(S49)	岩崎 央(S61)	水島 裕幸(H12)	黒田 佳郎(H27)
副会長	西川 朝彦(S48)	同上	小川 芳也(H14)	陰山 豊秀(S50)	※ 大野 幸一(S61)	高岡 栄二(H13)	中野 洋平(H28)
同上	今西 秀樹(S61)	監査	伊藤 謙	延永 稔仁(S50)	大橋 政広(S62)	福島 智行(H14)	合田 周平(H29)
常任委員	熊谷樹一郎	同上	眞鍋 育弘(S51)	柴田 芳彦(S51)	高田 太(S62)	川勝 雄介(H15)	田中 達大(H30)
同上	熊野 知司	評議員	中野 昭雄(S39)	小西 隆夫(S52)	中野 茂(S63)	小山 裕貴(H15)	奥田 勝稀(H31)
* 同上	田中賢太郎(H13)		福田 富保(S40)	池谷 力(S53)	森 光正(H01)	藤澤 博規(H16)	藤家 凌我(H31)
同上	寺本俊太郎		中谷 利昭(S42)	藤田 謙治(S54)	秋岡 宜和(H02)	亀岡 慎也(H17)	森 敬洋(R2)
同上	佐藤 大作		古川 忠彦(S43)	坂上 敏彦(S54)	岡田 博志(H03)	中島 誉史(H18)	阪田 直樹(R2)
同上	水野 忠雄		荒瀬美喜夫(S44)	* 平尾 雅一(S54)	※ 佐々木 剛(H04)	藤田 雄三(H19)	杉本 雅弥(R3)
同上	久保田誠也		丸山 良夫(S44)	石橋 源三(S55)	前田 泰秀(H05)	※ 東出 唯(H20)	中原 汰朗(R3)
同上	田中 昌明(S48)		上柳 清志(S45)	山口 雅明(S55)	木村 隆幸(H06)	中川 佳祐(H21)	桃瀬 凌(R4)
*** 同上	城野 和夫(S50)		正本 実(S45)	北村 幸定(S56)	卜部 伸一(H07)	根木 沙織(H22)	森本 裕真(R4)
同上	北村 幸定(S56)		奥田日出男(S46)				

下線を引いた氏名は連絡先(メールアドレス)が不明な方です。御手数ですが、事務局までご連絡ください。(ishida@civ.setsunan.ac.jp)

【摂南大学土木会】令和3年度 決算書・令和4年度 予算書(案)

令和3年度 決算(案) 2021年10月1日から2022年9月30日

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	予 算	決 算	科 目	予 算	決 算
前年度繰越金	721,271	721,271	事務費等	140,000	22,762
正会員入会金(62名)	730,000	620,000	会報発行費	800,000	733,529
広告料	400,000	440,000	同窓会補助	80,000	0
預金利息	100	7	役員会・評議員会費	100,000	17,000
寄付金	0	99,000	総会費	100,000	0
			特別講演会(1人分)	100,000	20,000
			ホームページ維持管理費	132,000	121,000
			慶弔費・見舞金	70,000	100,000
			雑費	30,000	2,533
			名簿追加修正費	30,000	0
			予備費	269,371	863,454
合計金額	1,851,371	1,880,278	合計金額	1,851,371	1,880,278

令和4年度 予算(案) 2022年10月1日から2023年9月30日

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	予 算	科 目	予 算
前年度繰越金	863,454	事務費等	140,000
正会員入会金(64名)	640,000	会報発行費	800,000
広告料(20社)	400,000	同窓会補助	80,000
預金利息	100	役員会・評議員会費	100,000
		総会費	400,000
		特別講演会(2人分)	100,000
		ホームページ維持管理費	132,000
		慶弔費・見舞金	70,000
		雑費	30,000
		名簿追加修正費	30,000
		予備費	21,554
合計金額	1,903,554	合計金額	1,903,554



建設コンサルタント・補償コンサルタント・情報測量・情報管理

大島技術コンサルタント株式会社

本社 岡山県真庭市藤山上福田829-1
〒717-0602 ひるぜん TEL 0867-66-3673(株)
FAX 0867-66-3674
URL: <http://www.ogcfight.co.jp>



イビデングリーンテックは、
人と自然の共生、
調和のとれた地球環境を創造する企業です。

当社は、「緑化＝グリーンビジネス」を
事業の柱として、主に「法面事業」、
「造園事業」、「建設事業」の3事業を
展開しています。

ig イビデングリーンテック株式会社

【本 社】〒503-0021 岐阜県大垣市河内町 3-35
TEL 0584-61-6111 FAX 0584-74-1971
【関西支店】〒651-0072 神戸市中央区臨海町 2-11-14
(現代神戸ビル4F)
TEL 078-291-5585 FAX 078-291-5586

<http://www.ibiden-greentec.co.jp>

研究室だより

はじめまして。今年の3月末にご退職された福島先生の後任として、4月より都市環境工学科に着任した久保田と申します。学生の成長に少しでも寄与できるように精進してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。3月までは民間企業でロボットエンジニアとして働いており、教員としての経験はこれまで無かったですが、大学時代から教育に携わりたいという思いがあったので、教壇に立つ機会をいただけたことに感謝の気持ちでいっぱいです。いざ働き始めると、講義の準備や卒業研究指導に追われる日々で、あっという間に前期が過ぎていったという印象です。ただ、学生の成長を感じた時や、講義や研究を通して学生に専門分野の内容に興味を持ってもらえた時というのはやはり嬉しい瞬間であり、今後もこのような瞬間が増えるよう、試行錯誤しながら教育改善に努めてまいりたいと思います。

さて、研究室だよりということで当研究室の紹介をさせていただきますと、当研究室ではソフトの面

都市・地域計画研究室 講師 久保田 誠也



から都市・地域をより良くすることを目指しています。私自身は空間情報学の領域を専門としており、大学時代からプログラミングコードを書いて、画像データやLiDARで取得した三次元点群データ、スマートフォンで取得された位置情報データなどに対して分析処理などを行い研究や開発を進めてきましたので、当研究室でも計画手法や施策の研究だけでなく、計画策定や地域活性化に役立つソフトウェアの開発にも取り組もうと考えております。今年度の卒業研究のテーマは、学生の興味・関心をベースに設定したため、ドライブレコーダーやGoProで撮影された画像を用いた三次元都市モデルの作成や、GIS(地理情報システム)を用いた地方都市の公共交通課題の分析、ドローン配送シミュレーションなどバリエーション豊かになりました。学生と共に学び、考え、行動し、社会的な課題の解決につながるような研究を進めてまいりますので、今後とも都市・地域計画研究室をよろしくお願い致します。

KAIKEN—街づくりの総合コンサルタント

【企業理念】

建設に係る技術力をもって社会に貢献すること



株式会社 開発計画研究所

代表取締役

井上 忍

(昭和44年3月卒業)

事務所:東京・水戸

TEL 03-5828-6855

小田卓朗(社員) 平昌オリンピック出場

・スピードスケート 1,000m 1,500m 5位

・帰山雄太 第73回国民体育大会 優勝



大阪市内より30分圏内の

緑豊かなお墓地をご案内いたします。

お墓のことならどんな事でもお気軽におたずね下さい。

お墓の相談コーナー ☎0120(305075)

(株) 太田 石材店



本社 大阪市城東区古市1丁目23番20号

TEL 06-6930-5075

当社推奨霊園

総持寺霊園(茨木市)	服部徳風墓地(豊中市)
陰国寺墓地(吹田市)	竜の子霊園(奈良県)
海印寺墓地(長岡京市)	玉手山墓園(柏原市)
王寺霊園(奈良県)	飯盛メモリアルパーク(四條畷市)
東本願寺天満別院(北区)	飯盛霊園(四條畷市)
北拱霊園(豊能郡)	その他公営墓地
真龍寺霊園(茨木市)	

コンクリートで+αの
可能性を広げる



KCON
Potential of Concrete
https://www.kcon.co.jp

ケイコン株式会社

プレキャストコンクリート製品の開発・設計・施工・製造・販売・総合建設業

【本社】

〒613-0903

京都市伏見区淀本町225 TEL:075-631-3231 FAX:075-631-9588



まちのコントラクター

荻田建設工業株式会社

取締役会長 荻田 孝太郎

ISO9001 本 社 〒660-0087

ISO14001

尼崎市平左衛門町18番31号

TEL (06)6419-2981(代表)

ホームページ: <http://karitakensetu.com>

三田営業所 三田市三田町36-16-201

TEL (079)563-0095

今年度、都市環境工学科には、1年次96名、2年次78名、3年次62名、4年次64名で合計300名の学生が学んでいます。大学院の社会開発工学専攻における本学科出身者は、1年次5名、2年次7名です。熊野知司教授が学科長として学科運営に当たり、教職員は専任9名、非常勤36名、事務スタッフ3名の陣容で教育・研究の指導を行っています。

まだまだ新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響を受ける日々が続きますが、2021年度の後期からは徐々にオンラインから対面講義へと切り替わり、都市環境工学科では今は完全に対面講義に戻っています。学科の専門科目である「都市環境基礎ゼミⅡ」の中で、「P-1グランプリ」というペーパーを用いて製作する橋梁模型のコンテスト形式の授業を展開しています。ゼミごとに教室を分け、感染予防対策を取りながらの作業となりましたが、前年と違ってゼミメンバーで協力して作業ができました。学生たちは熱心にオリジナルの橋梁模型を製作し、例年にない力作揃いの作品ができました。2021年度の結果は、構造部門の優勝は田中ゼミ、準優勝は福島ゼミ、プレゼン部門およびデザイン部門の優勝は佐藤ゼミ、準優勝は石田ゼミとなりました。

学科主催の行事として、2021年10月28日に実施した講演会および現場見学会について報告させていただきます。講演会では、1年生および3年生合同で実施し、大阪府都市整備部の方のご協力を得て、土木系公務員の職務、土木全般の維持管理についてご講演いただきました。現場見学会は、1年生3箇所(①人と防災未来センター、②琵琶湖疏水記念館、③津波・高潮ステーション)、3年生3箇所(①NEXCO総研緑化技術センター、②(株)パスコ関西事業部、③東亜建設工業(株)大阪港北港南地区航路附帯施設護岸(2)余水吐等工事)に分かれて現場を見学しました。摂南大学土木会を通じて、東亜建設工業

さまの見学先をご紹介いただきました。この紙面をお借りして、心より厚くお礼申し上げます。

2022年3月14日に福島徹教授の最終講義を実施しました。対面とオンラインのハイブリッド開催となりましたが、会場には卒業生も駆けつけてくれました。コロナ禍で大変な中、学科長として都市環境工学科を牽引していただきました福島先生に、学科から感謝状を贈呈しました。

2022年3月24日に、学位記授与式が実施されました。体育館での式は密を避けて二部制になりました。その後、教室で学科単独での式を実施しました。前年に引き続き、卒業祝賀会はありませんでしたが、摂南大学土木会会長の新田耕司さまより祝辞をいただきました。摂南大学土木会による卒業研究優秀賞は、該当学生に向けて、卒業研究優秀賞建設部門1名、環境部門1名に表彰させていただきました。この紙面をお借りしてご報告とさせていただきます。また、3月をもって長年都市環境工学科に貢献していただきました片桐信先生と事務スタッフの吉岡久恵さんが退職されました。長い間ありがとうございました。令和4年3月卒業生の皆様方、新しいステージでのご活躍を期待しています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



デザイン部門の橋梁



載荷試験



津波・高潮ステーション(1年生)



NEXCO緑化技術センター(3年生)



福島先生の最終講義



卒業式

**日本地図をも変える仕事。
これが建設の魅力だ。**



奥村組土木興業株式会社

大阪本社：大阪市港区三先1丁目11番18号



情報をつなげる力で、
人・社会・地球の未来をデザインする



国際航業

国際航業株式会社 西日本支社 関西事業所
〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町 1-1-15
TEL:06-6487-1111 <https://www.kkc.co.jp/>

ウィズコロナでの就職活動

都市環境工学科 准教授 寺本 俊太郎

前年度担当の佐藤先生より引継ぎ、今年度の就職担当を拝命しました。今年度も一昨年度から変わらずコロナ禍での就職活動となりましたが、企業・学生ともにウィズコロナの意識が芽生えており、ハイブリッド形式による説明会や現場見学会の開催・参加など、状況に合わせて臨機応変に対応されています。

8月上旬時点での内定率は

81%と例年並になっていきます。本年度においても特に建設系企業の採用意欲が高く、どの業種も積極的に採用活動をされています。地方公務員も早期特別採用枠が設けられ、また公務員第一志望学生でも民間企業より内定を頂ける状況であり、学生としては安心して公務員試験に望める環境となっています。未内定者は公務員志望、教員志望、建設分野以外での就職を希望する学生がほとんどで、継続して就職活動に取り組んでいます。

現在の内定者の内訳を大まかに見てみると、建設関係68%、道路関係2%、建築系2%、コ

ンサルタント10%、専門工事業者・メーカー等12%、教員2%、大学院進学4%となっています。昨年度と比較すると、建設系の特にゼネコンへ就職を決めた学生が大幅に増加している状況です。一方で大学院では、6名の学生が就職活動に取り組み、建設関係2名、コンサルタント3名、高速道路関係1名と全員が希望通りの就職先に内定を頂きました。

近年では、電子化された膨大な企業情報の中から自分の希望する条件の企業を探し出すという点において、苦労する学生が多いようです。就職委員会においても、就職情報の供給過多になっている点が指摘されており、大学サイドとしては学生に応じて整理された情報を伝える努力が必要と感じています。特にOB・OGの皆様が活躍されている企業や学科とつながりのある企業などの情報は、他の大量の情報に埋もれて学生が見逃すことのないように、工夫をして共有できればと考えております。



高度な技術力と豊かな経験を、次世代の技術者に継承します。

TSUKURU MAMORU

鉄道・道路構造物の設計および各種土木構造物の維持管理
土木構造物の専門技術者集団

中央復建デザインプラス株式会社 Since 2017

〒533-0033 大阪市東淀川区東中島4-11-10
TEL 06-6160-1135 www.cfkdp.com

cfkdp 検索 DESIGN PLUS



創造力と総合力でお客様のニーズにお応えします

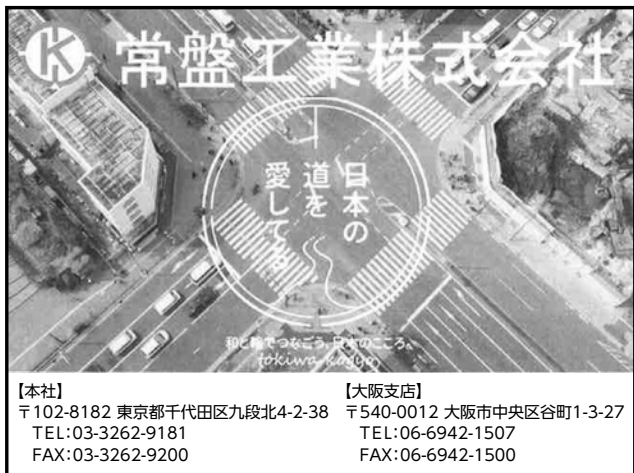
CFKは社会の様々な要請に応えるべく、健全な企業経営のもと優秀な技術者が大いに活躍できる場を確保し、技術力の研鑽とともに、人材育成や働きやすい職場環境づくりに力を注いでいます。

<http://www.cfk.co.jp/>

CFK 中央復建コンサルタンツ株式会社 Since 1946

【本社】〒533-0033 大阪市東淀川区東中島4-11-10
TEL:06-6160-1121 FAX:06-6160-1127

【東京本社】〒102-0083 東京都千代田区麹町2-10-13
TEL:03-3511-2001 FAX:03-3511-2031



常盤工業株式会社

日本の道を愛して

和と情でつながる。tokaiwa kogyo

【本社】〒102-8182 東京都千代田区九段北4-2-38
TEL:03-3262-9181 FAX:03-3262-9200

【大阪支店】〒540-0012 大阪市中央区谷町1-3-27
TEL:06-6942-1507 FAX:06-6942-1500



Create Value, Build the Future

私たちは今、この時の行動ひとつひとつを大切に、これからの社会に新たな価値を創造し、ステークホルダーのみならずともに未来の社会に貢献し続けることを約束します。

私たちの今が、社会の未来を創る

東亜建設工業 TOA CORPORATION

〒163-1031 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー www.toa-const.co.jp

私の近況報告

摂南大学 元教授 瀬良 昌憲

2019年3月末に退職して3年半が過ぎようとしています。退職した年の7～12月の間に英国へ3回も旅行しました。7月にはリヴァプール(ビートルズ発祥の地)、9月にはバンガー(北ウエールズ)とヨークシャー・デイルズ国立公園(イングランド北部)、12月にはリーズ(イングランド北部)に行きました。バンガーではメナイ吊橋(1826年に完成した鍊鉄製)を初めて見ました。約200年前の吊橋が補強されながらも現存するという土木技術者の優秀さに驚くばかりです。先述の国立公園ではレンタカーで巡るドライブ途中のリブルヘッド陸橋(24本の石柱に支えられた鉄道橋)を背にした写真を撮影しました。そうして、12月年末に帰国した翌年春に始まったのがコロナウイルス騒動です。現在、ワクチン接種を続けながら自粛生活を強いられています。

退職後、京都の測量会社の技術顧問として在籍し、週1回の気楽な勤務です。

以前から庭の樹木に飛来する雀などを観察していたので、新たに動画撮影しユーチューブに投稿しました。「神戸浦太郎」と検索してもらえればご覧いただけます。当然ながら、閲覧回数はごくわずかです。

また、コロナウイルス騒動の最中の昨年度に170戸ほどの私の住む小さな町の自治会長を務めさせていただき、活動を通じて地域の実情が改めてよく分かり大変勉強になりました。

最後に、コロナウィ
ルスに負けず、土木会
の皆様方のご健康とご
活躍をお祈りします。



2020年4月(株)住軽日軽エンジニアリングより社名を変更しました。

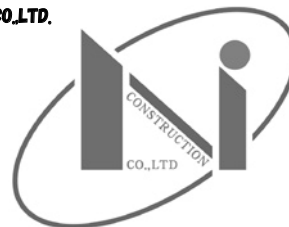
美しいまちとあなたのアル未来



日軽エンジニアリング株式会社

本 社 / 〒136-0071 東京都江東区亀戸2-35-13 新永ビル TEL.03-5628-8510
大阪支店 / 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-5-18 朝日生命道修町ビル TEL.06-6223-3561
<http://www.sne.co.jp/>

総合建設業・一級建築士事務所・宅地建物取引業
NAWAKENSETSU CO.,LTD



奈和建設株式会社

NAWA Group

本	社	和歌山県本市市営 第1117-1 TEL 078-32-3733 FAX 078-323-1214	株式会社イキエニエンシステム 和歌山県橋本市新野町40-3 一般電気機器業、産業機械器具業、建設土木・国土開発
和歌山支店	和歌山県和歌山市米見 第1508	株式会社 N A W A 和歌山県海南市下津町47-246 総合建設業	
和歌山営業所	和歌山県和歌山市井ノ口 540-3	株式会社 伊都郡きつぎ町並木田310-1 総合建設業	
かつらぎ営業所	和歌山県伊都郡かつらぎ町芝田310-1	株式会社 志達商事 和歌山県橋本市賀東114-1 総合建設業	
田原本資材置場	奈良県磯城郡田原本町西竹田108	土物屋 興隆建設株式会社 建築材 和歌山県橋本市文学館路163-1 土木、建築、資材の調査・組合せ・供給	
		土木環境建設試験所FC和歌山店 和歌山県橋本市賀東111-4 地質調査・土壌調査・環境調査・水環境調査・測量設計・土木検査工務・地盤補強工事	

未来を見据え このまちをささえる

総合建設コンサルタント



株式会社 日本インシーク

■大阪本社
 〒541-0054 大阪市中央区南本町3-6-14
 TEL.06-6282-0310 FAX.06-6282-0311
 ■東京本社
 〒104-0033 東京都中央区新川1-23-4
 TEL.03-4214-2000 FAX.03-4214-2001
 ■名古屋支社 ■神戸支社
 ■奈良支社 ■九州支社
<https://www.insiek.co.jp>



株式会社
日照技術コンサルタント

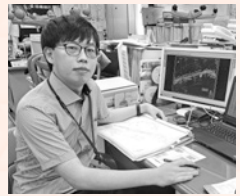
建設コンサルタント
道路、河川・砂防及び海岸・海洋
都市計画及び地方計画
下水道、施工管理、発注者支援
測量

代表取締役 **市原 久照** (高専52年卒)
〒611-0041 京都府宇治市横島町月夜3番地の2
TEL 0774-22-7137 FAX 0774-22-4966
E-mail:nissho-soumu@c cyber.ocn.ne.jp
http://nissho-engineer.co.jp
支店、営業所：大阪支店・城陽支店・南丹営業所

兵庫県で得た経験

兵庫県庁

荒木 良太 撰大令和2年卒



私は、令和2年4月に兵庫県庁に入庁し、本年度3年目を迎えました。兵庫県庁を希望した理由は、「日本の縮図」といわれる兵庫県で地域課題の解決に携わりたかったからです。

この記事では、これまでの業務内容および、得られた経験を紹介します。

1 いきなりの在宅勤務

入庁時は、未曾有のコロナ禍真ただ中。出勤者を減らすべく、3分の2は在宅勤務となりました。はじめは、大きな不安を抱えていたことを記憶しています。上司等へ相談する際、対面なら指示語を多用しても伝わりませんが、リモートでは適切に伝わりません。説明力に対する意識が変わり、会話力が向上するメリットもありました。

2 業務内容

1年目、本庁の道路網や道路施策等の調査、計画立案を担当する課に配属されました。道路施策の計画改定を担当することになり、国や県内部関係課、県下市町との調整や法律、上位計画との整合に苦労しました。

2年目からは1年目の業務に加え、補助として、高規格道路の国要望や議会対応に携わりました。国要望では道路整備推進のため、県民、国交省、国会議員、県会議員、知事等が出席する促進大会を行いました。事業規模等の大きさに驚きましたが、地元への熱い想いを直に国へ伝える貴重な経験をもらいました。

本庁での2年間は、「必要な事業はなにか」その事業はどのような便益をもたらすかを考え、組織として地域の姿を変える「地域づくり」に携わっていることを深く自覚しました。

3年目の現在は、土木事務所に異動となり、道路改築の設計業務や道路の改築、維持管理の工事発注に携わっています。地元の方やコンサル、施工業者と直接関わり、同じ道路の業務でも転職したくらい業務内容が変わりましたが、現場に行くため「地域づくり」を肌で感じています。

3 おわりに

この仕事に対し、非常に大きなやりがいを感じています。日々、知識・経験不足を痛感していますが、一人前の技術者になれるよう学び続け、県土整備事業推進の一翼を担っていききたいです。

世のため、人のため、地域のため、

(株)鴻池組

福岡 大和(撰大平成30年卒)



私は平成30年3月に摂南大学を卒業し、今年で入社5年目となります。弊社は大阪市内に本社を持ち、国内だけでなく海外でも施工を行うゼネコンです。昨年創業150周年を迎えました。新型コロナウイルスで延期となっていた全支店同時開催の記念式典を今年の6月に無事執り行うことができました。

1年目には、民間企業発注の宅地造成の現場に配属となりました。最大12mのL型擁壁を現場で施工し、95区画の宅地を造成しました。振り返れば急峻な現場での切土・盛土の丁張を出す測量など大変だった事を思い出します。中でも、自分たちが間違った測量や墨出しをした際に発生する手戻りの大変さを痛感しました。しかし、自らバーチカル曲線の計算をして計画した場内道路が完成した時の喜びは今でも忘れられません。

3年目には、淀川左岸線2期事業の内の1区画を担当する現場に配属となりました。1級河川の堤防と一体となる高速道路を地下に造るといった全国でも非常に珍しい工事です。工事延長が長く、様々なゼネコンと肩を並べて仕事をしており、民家に近接した条件下で、大型施工機械を用いた構造物撤去や砂杭打設後のプレロード盛土による地盤改良など、近隣に対する振動騒音や地盤変位の軽減に細心の注意を払う事が求められました。

現在は、隣接区画(淀川左岸線と国道2号の交差点)の工事が着工したため、昨年11月より異動となり、事業の中でも非常に施工条件の厳しい現場への配属となりました。国道2号の4車線を規制しながら工事を進める必要があり、私はその2車線の規制を反対側に移す計画や申請書類の作成を任せられましたが、先日無事に終えることができました。私一人ではまだまだ微力ですが、上司や先輩に助けて貰いながら工事全体の中の1つのイベントを終えられた事に非常にやりがいを感じました。

これからも土木の醍醐味、そして摂南大学の建学の精神でもある『世のため、人のため、地域のため』を信念に、いつか自分が所長として造った道路を運転する事を夢に精進していきます。

奥村組土木興業で経験したこと

奥村組土木興業(株)

森 秀哉 平成29年卒



私は平成29年4月に奥村組土木興業(株)に入社しました。奥村組土木興業は土木・建築部門、ガス・舗装復旧工事部門および建設資材製造販売リサイクル部門の3部門からなり、入社してから6年間、私はガス・舗装復旧工事部門に所属しています。

ガス・舗装復旧工事部門は、主に大阪ガスから受注したガス管理設工事や舗装復旧工事、建物内のガス管の配管工事などを行っています。その中で私は、ガス管理設工事を担当しており、大阪ガスや協力業者との打ち合わせ、図面の作成、現場監督の業務を行っています。

入社して1年目は先輩社員に同行し現場の施工内容や監督業務、請求業務や着工前の準備などOJT研修として様々なことを先輩社員に教わりました。学生時代、ガス工事については一切触れてこなかったため、新鮮なことが多かった。わからないことは上司や先輩社員、現場の協力会社の方々が親身になって教えて頂き、そのお陰で3年目からは一人で現場を任せられるようになりました。任された当初は未経験の工法が多く、苦戦することや怒られることもあり、気持ちが折れてしまいそうでした。しかし、そんな時にすぐにフォローをしてくれる先輩や、公私の悩みを聞いてくれる同期の仲間の協力で乗り越えることができ、そこが当社の非常に良いところだと思います。

私はこの仕事をする上で大切だと思っていることはコミュニケーションをとることです。円滑に工事を進めるために、上司や先輩はもちろん、現場沿線のお客様や協力会社の方々ともしっかりとコミュニケーションをとって仕事を進める必要があります。お客様および実際に作業する協力会社の方々に対して誠実に工事内容の説明をし、両者の要望を聞くことで、最も良い施工方法で工事することにつながると思い、実践しています。

まだまだ勉強することは沢山ありますが、努力を惜しまずこれからも仕事に挑み、成長し続けたいと思います。

私の近況報告

(株)奥村組 佐々木 剛 (1992年卒)



【卒業してから】

卒業して30年が経ちました。卒業以来、ゼネコンと呼ばれる総合建設会社で働いています。12年前から営業職となり、受注を目指して日々邁進しています。

【建設業界の今とこれから】

建設業界は、この30年間で随分変わってきてはいますが、建設現場の"過酷さ"と、その代償に味わえる"喜び"は今も変わらないと感じています。建設現場の過酷さについては、克服を目指した取り組みが進められています。例えば、無人化施工やプレキャスト化などの生産性向上を目指したもの、web連携した品質検査や出来高記録など、業務効率化に寄与するもの、などを業界全体で取り組んでいます。建設業界の自助努力が実を結び、その魅力がもっと世間に浸透し、これからの若者が目指したくなるような業界に発展することを願っています。

【これから建設業界を目指す方へ】

「まずは、ものづくりの喜びを味わう」

トンネルでも橋でも50年100年単位で供用される構造物に、自分が携わって完成した時の感動、そして家族を連れてその施設を利用した時の喜び、何度味わっても格別な体験です。"土木工学"に携わった方には是非体感してもらいたいです。

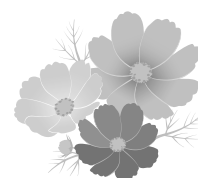
色々な立場で建設業に携わりたいという考えをお持ちの方には、まずはゼネコンからスタートして、建設現場をひと通り経験してから、上流側の計画・設計をする役所やコンサル、地域密着の地元建設会社に携わる流れが良いのではと思っています。

【私生活について】

私も52才となり、2人の息子もようやく社会人になりました。これからは妻と2人で余生をどう歩んでいくのか、ゆっくりと考えていきたいと思います。

第42号会報に関して寄せられたご感想の一部を紹介します。

- * 井上治先生に大変お世話になりました。
- * 益々の当土木会の御発展を願っています。併せて、井上治先生の在りし日を偲びます。御冥福を御祈りします。
- * 大島先輩の話に心を打たれるものがありました。
- * お世話になります。井上先生には卒研でご指導いただきました。さみしいです。
- * 井上先生、大宅泰司様の訃報にご冥福をお祈り申し上げます。
- * 高専時代の諸先生の近況を記載してください。
- * 大変読み応えのある会報と感じました。
- * いつも楽しみにして拝読しています。
- * コロナ禍で、授業も含め学科全体でのご苦勞を推察させていただきます。
- * 会報の中で、同じように市役所で働く方の記事があり、維持管理の難しさを再認識しました。
- * 先生方のお名前を目にしてなつかしく思ったこと、後輩の方々が熱心な学びをされていることを、知ることができ良かったです。ありがとうございました。
- * 土木の学問を通して「いい経験」ができると改めて認識しました。



技術士会だより

会長 飯田 章 (摂大昭和61年卒)

皆様、こんにちは。この度、前木下会長から引継ぎ、令和4年度より会長を仰せつかったC科61年卒の飯田です。土木会の皆様、今後とも技術士会をお引き立てよろしくお願いいたします。前木下会長には、平成14年技術士会発足以来の会長職を務めて頂きご苦労様でした。紙面を借りて御礼申し上げます。

さて、技術士会のPRです。発足20年を越えた技術士会は卒業生で技術士及び修習技術者(JABEE課程修了者・技術士補)の方を正会員とし、在校生で技術士第一次試験合格者を準会員として構成し、会員数も76名(内技術士52名)で構成しています。技術士会では毎年総会を実施し、その折りには特別講演会を開催して技術の研鑽に勤しんでおります。また年2回の会員相互の親睦会や、在学生に対する術士第一次試験受験セミナーの開催を行っています。

皆様も同様だと思いますが、昨今、コロナ禍で思うような活動ができおらず、今年度から再始動の年度としたいものです。技術士会が会員にとって有益になり、土木会にも寄与できる組織となれるよう尽力いたしますので、今後とも技術士会活動へご協力とご鞭撻をお願いします。また、技術士及び修習技術者の方は、技術士会のHPより入会を！是非とも母校の発展に尽力しましょう。

準備室スタッフ紹介



竹井 桂子

はじめまして。9月より都市環境工学科準備室で勤務しております竹井です。今まで色々な事務を経験してきましたが学校事務は初めてなので不安や戸惑う日々ですがいつも優しく教えていただきとても感謝しております。仕事をしていくうちに学生だった頃を思い出し、そして先生方の大変さを感じました。授業が始まり皆様にはご迷惑をお掛けする事も多いと思いますが早く仕事を覚えてサポートできるようにがんばりますのでよろしくお願いいたします。

昨年10月以降に寄付いただいた方を今号にてご紹介いたします。

(令和4年9月現在 敬称略・順不同)

中井 敏明 (昭和45年卒)	荒木 亨 (平成22年卒)	林 義宣 (昭和60年卒)	西山 賢浩 (昭和61年卒)	井上 英夫 (昭和42年卒)	奥村 芳行 (昭和56年卒)	赤羽 太 (平成6年卒)	畑尾 一貴 (平成23年卒)	高石 清賢 (昭和58年卒)	太田 明 (昭和43年卒)	清水 寿浩 (昭和60年卒)	西山 庸介 (令和3年卒)	西村 正道 (昭和62年卒)	原田 啓一 (昭和56年卒)	由井 伸直 (昭和58年卒)	藤原 尚樹 (昭和46年卒)	衣田 順一 (昭和49年卒)	荒瀬 美喜夫 (昭和44年卒)	辻 正 (昭和56年卒)	足立 博成 (昭和50年卒)	別所 友宏 (昭和49年卒)	平山 富雄 (平成11年卒)	大島 正樹 (昭和42年卒)
----------------	---------------	---------------	----------------	----------------	----------------	--------------	----------------	----------------	---------------	----------------	---------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	-----------------	--------------	----------------	----------------	----------------	----------------

計 報

遠藤 司郎 様(昭和44年卒)

目良 敏 様(昭和47年卒) (令和3年5月27日 逝去)

寺田 孝 様(昭和48年卒)

西埜 貴之 様(昭和63年卒)

謹んでご冥福をお祈りします。

HC 21世紀をグローバルに拓く 株式会社花村コンサルタント

建設コンサルタント業 第8662号
地質調査業 第1760号
測量業 第14744号
土壌汚染指定調査機関 2015-5-1003

代表取締役 花村 浩司 (高専C昭和47年卒)

理事 井村 達雄 (高専C昭和47年卒)

技術士/総合監理 (建設部門「鋼構造及びC/道路」)

本社 〒611-0042 京都府宇治市小倉町南浦 9-8

TEL (0774) 21-5067 (代) FAX (0774) 21-5655

大阪事務所 〒542-0012 大阪市中央区谷町 7-3-4-314

※随時 求人募集中

広告掲載募集中!

摂南大学土木会事務局

E-mail: ishida@civ.setsunan.ac.jp

HP: <https://www.setsudokai.jp/>



テーマ：コロナ禍が収まりつつあるなか、
今後頑張りたいこと・やりたいこと

大学生活の中で、私達はこんなことを考えています！

成長に繋がること

1年生 伊東 稜馬



私は今、教職課程と都市環境工学科の専門科目の2つに力を入れて勉強に取り組んでいます。

その中でも特に数学に焦点を当てて学んでいます。その理由は、教員に就いても技術職に就いても数学は将来において、最も幅広く使われているからだと考えています。そして、学んだ数学の知識を人の役に立つことを目標に自分なりに応用できるよう取り組んでいきたいです。

また、交友関係にも力を入れるように努めたいと思います。何故なら、同じ学科内の人や先生などいろいろな人と関わることで勉強面での切磋琢磨だけでなく社交性など自分の成長にも繋がると思いたくさんの人に積極的にコミュニケーションをとるよう今後も心がけていきたいです。

新型コロナウイルスの状況下にも関わらず、通常通りの講義が行われていることへの感謝をしながら、いろんな科目を受講することによって幅広い知識を習得し、将来に生かすことができるよう常に意識して決して甘んじることなく継続していきたいです。

そして、長期休暇を利用してボランティアの参加など、大学生活でしかできないことにも積極的に挑戦していきたいです。

専門的な学びをより意欲的に

2年生 石田 莉百



コロナ禍が収まりつつある中、旧友と久々に話す機会を持つことが次第に増えています。会話の中でこれまでの学びとは違い、それぞれが別の道を進んでいるということを実感します。一回生であった去年、基礎的な科目が多く明確な目的が持てないままの学習となることが今までの学校生活同様続いていましたが、専門的な学びが増えてきた今、講義で得た知識の繋がりが目に見えるものも多く、学ぶことにより意欲的な気持ちを持てるようになりました。専門的な科目を例にあげると、測量学Ⅱの高速道路のカーブについての授業が日々の暮らしに現れるところが多々あり興味を持ちました。日本で初めてクロソイド曲線が使用された名神高速道路など、今までなら変わりのなかったものも見え方が変わるのでしょう。専門的な授業から受け取った知識でこれから違う景色を見て新しい思考ができるよう成長したいです。そのためにさらに深まる講義を理解できるよう努めます。また、コロナ禍が収束する今期待することといえば都市環境基礎ゼミⅡで行われるP-1グランプリです。これはコロナ禍でも開催されましたが例年とは違い個人の活動が増えたと言われました。今年は複数人で取り組み、ぜひ部門で優勝したいです。

ゼミでの活動内容について

4年生 鎌苅 章太郎



自分はコロナ禍の去年、おとしは遠隔授業だったので、友人との交流があまりできませんでした。友人と実際に会えるのは週に1回ある実験のみでした。今年からやっと対面授業になり、友人と共に授業を受けることができたのでとてもうれしかったです。自分は今年4年生なのでゼミでの活動が始まりました。その一環でコンペに参加することになり、静岡県焼津市でフィールドワークを行うことになりました。今はそのための準備として、市の魅力となるものや課題となりうる点を探しています。このような活動はとても新鮮で、楽しみに思っています。コロナ禍であった去年、おとしではできない活動ができることがとてもうれしいです。

今後やりたいことは、自分の卒業研究の内容が写真測量に関することなので、実際に街の写真を撮りに行きたいです。卒業論文を書き終わるまでゼミ室にこもっているだけではなく、実際に屋外に出て活動したいです。来年からは摂南大学大学院に進学する予定です。来年も新しいメンバーでフィールドワークや卒業研究といった活動を頑張りたいです。

対面授業の充実感

3年生 白石 彩乃



私たちの学年は、入学のタイミングからコロナへの感染対策が強化され、入学式など人が集まる行事や通常授業が行えなくなりました。最近になり対面授業に移行し、隣に学友がいて、わからないことを話し合ったり、授業の中では実際にプレストコンクリートの製法を見せただけたり、オンラインでは味わえない充実感が得られています。今回の大きな社会現象のおかげで自分も周りも違った意味で成長できた期間だったと思います。私は建設コンサルタントを志望していて、3年生になり企業のインターンシップに参加する機会もあり、就職という言葉がとて身近になりました。就活の中でもwebで行われる企業説明もあり、遠い土地にある企業にも目を向けることによって、やってみたいこと、興味のある企業を見つけることができました。

こうして通常とは違う環境で大学生活を過ごしていくうちに、今の通常の生活のありがたさを改めて感じています。コロナ禍時代の中でのweb授業の良いところ、web就活での良さを体感しながら知識を広げ、己を磨いていきたいです。

編集後記

このページは私たち大学院1回生が企画・制作したものです。ここでは、先生方やOB・OGの方だけでなく、学生、受験生、そして皆様のご家族様にも、学部生がどのように大学生活に取り組んでいるかがわかるような会報誌にしたいと考え、学生自身の考えや意見を掲載しています。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発令などによって、例年のような大学生活が送れない状況が続きました。このような状況下の中でも、変化に柔軟に対応し、今年度から対面の授業形態が少しずつ増えてきており、本来の学生生活に近づいているようにも感じます。そこで私たちは今年のテーマを「コロナ禍が収まりつつあるなか、今後頑張りたいこと・やりたいこと」と設定し、学部生がどのように感じ、今後どのようなことをしたいと考えているのかを皆様に知っていただきたと考えました。最後に、このページを作成するにあたって、協力してくださった、教員方やアンケートに答えてくださった学部生の皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。



編集委員 森本 裕真、桃瀬 凌、床井 晴香、依田 駿作、田中 雅大